

戦争のない平和な生活を維持するために

入場
無料

「平和であることは、当たり前ではない…」

「1945年8月6日8時15分、地響きとともに、山の向こうにバラ色に輝く光と大きなきのこ雲が見えた。…夕方、逃げてくる被爆者に出会ったとき、怖くて近づけなかった……。」

13歳という人生でもっとも多感な時期の戦争体験が秋田氏の活動の原点になりました。長年、自らの体験を次世代に残し、平和の大切さを伝えたいと考えていました。そして、『原爆と戦争展』に出会い、小学校での伝承活動が始まったのです。

講演では、変えることのできない過去の出来事から得た、未来へつなげるための話をしてもらいます。戦争のない平和な社会の維持のために私たちは何ができるのでしょうか。一緒に考えてみませんか。

『原爆と戦争展』を成功させる岡山の会会員の大岸貴美子氏、中井節子氏にも紙芝居とハーモニカの演奏で参加していただきます。



講演にご協力いただく「原爆と戦争展を成功させる岡山の会」の皆さん

《講師プロフィール》

1942年、徴用で父親が暮らしていた呉市長浜へ移住。終戦間近の学徒動員で、呉市の空襲や広島への原爆投下を目撃した。

1956年から、数学教師として笠岡市・浅口郡の中学校に奉職。その間、戦争の恐ろしさや虚しさを伝えたいという思いをもち、教育実践をしてきた。2016年から「原爆と戦争展を成功させる岡山の会」の活動に参加している。

10/7(土)
14:00~15:30

講師

「原爆と戦争展」を成功させる岡山の会 会員
秋田 眞達 氏

会場

倉敷東公民館 大会議室



- 駐車場が大変狭いため、なるべく車以外の方法でお越しください。
- 受付の際、手指消毒にご協力ください。
- 発熱やのどの痛み、咳等がある方や体調がすぐれない方は、参加をご遠慮ください。
- 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い中止とする場合があります。
- 講演会開始2時間前の時点で「暴風警報」もしくは「特別警報」が発令している場合は中止とします。

お問合せ：東公民館 TEL・FAX 425-7774